

中医協 総-1-3  
19.5.16

平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る調査  
ニコチン依存症管理料算定保険医療機関における  
禁煙成功率の実態調査  
報 告 書



## 目 次

1. 目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査方法.....	1
4. 調査項目.....	2
5. 結果.....	3
(1) 回収の状況.....	3
(2) 一次調査：施設の状況（平成18年11月）.....	4
(3) 一次調査：患者の状況.....	14
(4) 二次調査：患者の状況.....	24
6. まとめ.....	30
7. 調査票.....	31



## 1. 目的

ニコチン依存症管理料算定医療機関の実態を把握すると共に、ニコチン依存症管理料を算定した患者に対する禁煙治療の実施状況と禁煙成功率を把握する事を目的とした。

## 2. 調査対象

本調査では、一次調査と二次調査を実施した。一次調査においては施設を対象とした施設調査と、ニコチン依存症管理料を算定した患者についての患者調査を実施した。二次調査では、患者調査のみ実施した。

一次調査の施設調査では、全国の保険医療機関の中で、平成18年7月1日現在ニコチン依存症管理料を届出していた施設から無作為に抽出した1,000施設を対象とした。

患者調査は、上記の調査対象施設において、平成18年6月および7月の2ヶ月間に、医療機関でニコチン依存症管理料の算定を開始した患者全員を対象とした。

二次調査の対象は、一次調査に回答した施設における、一次調査対象患者全員とした。

## 3. 調査方法

### ○一次調査

一次調査においては、施設調査と患者調査を実施した。

施設調査は、自記式調査票の郵送配布・回収とし、施設の概況および禁煙治療の状況について調査した。

患者調査についても同様に、自記式調査票の郵送配布・回収とした。治療終了3ヶ月後の状況については、医療機関が対象患者に、現在の禁煙/喫煙状況について電話調査を実施し、その結果を調査票に記載するものとした。なお、二次調査において当該患者の追跡が必要となるため、患者ごとにIDを付与することとした。

調査時期は、施設調査・患者調査ともに平成18年12月～平成19年1月とした。

### ○二次調査

一次調査の患者調査対象者の治療終了から5～6ヶ月目となる平成19年3月に、当該患者のその時点での禁煙/喫煙状況について、医療機関側が追跡調査を行った。調査方法は一次調査と同様、自記式調査票の郵送配布・回収とした。

一次調査対象患者のその後の禁煙/喫煙状況について、医療機関が対象患者に電話調査を実施し、その結果を調査票に記入して返送いただくものとした。

調査実施は平成19年3月とした。

#### 4. 調査項目

一次調査、二次調査における調査項目は以下のとおりである。施設調査（様式1）では医療機関属性や禁煙治療の実施体制等を、患者調査（様式2）では患者属性や受療の状況、禁煙成功／失敗を尋ねた。様式3では、指導終了5～6ヶ月後の禁煙／喫煙の状況を尋ねた。

図表 1 調査項目

調査		項目
一次調査	施設調査 (様式1)	<ul style="list-style-type: none"><li>施設区分、所在地、一日平均外来患者数、開設主体、標榜診療科</li><li>ニコチン依存症管理料の施設基準の届出時期、禁煙治療の体制、禁煙治療に携わる職員数、患者さんに対する1回あたりの平均指導時間、ニコチン依存症管理料算定患者数</li></ul>
	患者調査 (様式2)	<ul style="list-style-type: none"><li>性別、年齢、喫煙年数、1日あたりの喫煙本数、TDS点数、算定状況、指導終了時の喫煙・禁煙の状況、指導終了3ヶ月後の喫煙・禁煙の状況 等</li></ul>
二次調査（様式3）		<ul style="list-style-type: none"><li>指導終了5～6ヶ月後（平成19年3月時点）の状況</li></ul>

なお、禁煙治療を途中で中止した患者に、3ヶ月後、6ヶ月後の禁煙／喫煙状況を尋ねる際には、5回にわたる指導が終了していたと仮定して、その仮定の終了時から3ヶ月後の状況、および6ヶ月後の状況を尋ねた。